

要請番号 (JL00923A01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マレーシア	D222 溶接		個別	新規	2年	・ 2023/4 ・ 2024/1 ・ 2024/2 ・ 2024/3



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

人的資源省

2) 配属機関名 (日本語)

高等技術トレーニングセンター(ADTEC)シャーアラム校

3) 任地 (スランゴール州シャーアラム) JICA事務所の所在地 (クアラルンプール)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

高等技術トレーニングセンターはマレーシア国内に8校あり、産業界の熟練技能者の養成を目的とし、各地域の職業能力開発の中核的役割を担う産業人材育成校である。当校には自動車製造コース、航空機メンテナンスコース、溶接コース等の8コースがあり、学生には卒業後に即戦力となる高等技術習得のための訓練を行い、企業従業員には技術向上のための訓練を実施している。講師・職員数124名、学生数650名、各科3年制、年間予算は約4億円である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先の溶接コースでは、産業発展の基礎となる技術者の養成に取り組み、炭素鋼、ステンレス鋼、アルミニウムを含む溶接プロセス(被覆アーク溶接・ミグ溶接・ティグ溶接・サブマージ・炭酸ガスアーク溶接(フラックス入りワイヤ使用))の理論授業と実習を行っている。学生は設計、品質保証、検査、試験および管理にかかる知識・技術や、安全規定を満たすための計画や作業管理を学ぶ。しかし、現地講師のみの授業運営や作業管理では、最新技術・経験に沿った講義や実習の内容に関し知識・技術が不足しており、より高いレベルの訓練を実施するため、協力隊の要請に至った。また、経験の長い講師の定年が近いこと、経験の浅い講師への知識・技術の継承が不可欠であり、技術的な後退が憂慮されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

溶接コースの同僚講師とともに、以下の活動に取り組む。

- 経験の浅い講師に対して、理論的な講義および実技指導を支援する。
- 学生に対して、溶接技術を指導する。
- ロボット溶接、ウォータージェット切断、レーザービーム切断・溶接に係る数値制御機器の訓練プログラムの体系化を支援する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

アーク溶接機、炭酸ガスアーク溶接機、レーザ溶接機(Trumf Haas Laser 333)、レーザ切断機(Laserland)、ロボット溶接機(Motoman)、ウォータージェット切断機、各保護具等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

部門長(男性、50代、大卒、経験37年)

学科長(男性、50代、大卒、経験30年)

講師(男性4名女性1名、30-50代、短大-大卒、経験7、12、14、32、34年)

活動対象者:講師7名・学生約60名

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

マレー語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]: ()

[学歴]: (専門学校卒) 備考: 同僚とのバランス

[性別]: () 備考:

[経験]: (実務経験) 5年以上 備考: 講師への指導のため

[参考情報]:

- ・特記事項参照

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (熱帯雨林気候) 気温: (25~35℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水道]: (安定)

【特記事項】

本校卒業者の主な職業は、溶接工、製作技術者、アシスタント溶接技術者である。

「JIS被覆アーク溶接中板専門級又は基本級」「JIS半自動溶接中板専門級又は基本級」「JISステンレス鋼溶接薄板専門級又は基本級」のいずれかの有資格者又は経験者